

## ブタの日本脳炎HI抗体保有状況調査速報 －1999年第8報（最終報）－

日本脳炎のヒトへの感染は、日本脳炎ウイルスを媒介する蚊（コガタアカイエカ）が日本脳炎ウイルスに感染したブタを吸血し、その後ヒトを刺すことにより起こる。

感染症流行予測調査事業では、全国各地のブタ血清中の日本脳炎ウイルスに対する抗体を赤血球凝集抑制法（Hemagglutination inhibition test；HI法）を用いて測定することにより、間接的に日本脳炎ウイルスの蔓延状況を調査している。前年の秋以降に生まれたブタが日本脳炎ウイルスに対する抗体を保有し、さらに2-メルカプトエタノール（2-ME）感受性抗体（IgM抗体）を保有している場合、そのブタは最近日本脳炎ウイルスに感染したと考えられる。

1960年代までは、毎年夏から秋にかけて多数の日本脳炎患者が発生しており、ブタの感染状況から日本脳炎ウイルスが蔓延している地域に多くの患者発生がみられた。調査したブタの半数以上が日本脳炎ウイルスに感染していると、約2週間後からその地域に日本脳炎患者が発生してくるとの報告もあるが、現在では、日本脳炎ワクチンの普及や生活環境の変化等により、ブタの感染状況と患者発生は必ずしも一致していない。近年における日本脳炎患者発生数は毎年数名程度であるが、ブタの感染状況から日本脳炎ウイルスが蔓延していると推測される地域では、ヒトへの感染の危険性が高くなっていると考えられる。

本速報は、日本脳炎ウイルスの感染に対する注意を喚起するものである。それぞれの居住地域における日本脳炎に関する情報に注意し、日本脳炎ウイルスが蔓延していると推測される地域においては、予防接種を受けていない人、乳幼児、高齢者は蚊に刺されないようにするなど注意が必要である。

No. 1999-8 (Last)		1999年10月15日現在				
下記の都道府県における屠畜場のブタの日本脳炎抗体保有率は次の通りである。						
	都道府県	屠畜場 採血月日	検査数	HI抗体 陽性率 (%)	2-ME 感受性 (%)	その他
◎	沖縄	北部 8月31日	25	92	19	6月29日は25/25(100%)2-ME25%
◎		中南部 8月31日	24	96	64	6月29日は20/25(80%)2-ME80%
◎	宮崎	宮崎 9月7日	11	64	17	
☆◎	大分	大分 9月20日	20	100	0	8月10日採血ブタ20頭中3頭からJEV分離
◎	熊本	七城 8月30日	10	60	20	8月23日は7/10(70%)2-ME57%
◎	長崎	諫早 9月16日	20	90	0	8月18日は14/20(70%)2-ME64%
◎	佐賀	佐賀 9月13日	10	70	29	9月6日は8/10(80%)
◎	福岡	太宰府 9月7日	10	100	0	8月17日は10/10(100%)2-ME60%
◎	高知	中村 9月13日	14	100	0	8月17日は10/10(100%)
◎	愛媛	大洲 9月20日	20	90	6	9月6日は20/20(100%)
◎	香川	高松 9月6日	20	100	42	8月16日は20/20(100%)2-ME40%
◎	徳島	鳴門 9月13日	10	100	0	8月16日は10/10(100%)2-ME30%
◎	広島	三次 9月16日	10	50	100	9月7日は0/10(0%)
◎	島根	島根 9月10日	10	50	100	9月7日は2/20(10%)2-ME100%
◎	和歌山	南部	15	47	29	8月4日は5/7(71%)2-ME0%

		8月16日				
◎	兵庫	西播磨 9月27日	14	57	25	9月20日は12/15(80%)2-ME100%
◎	滋賀	日野 9月24日	20	100	11	9月17日は20/20(100%)2-ME24%
◎	三重	松阪 9月14日	10	100	70	9月7日は10/10(100%)2-ME60%
◎	静岡	西部 9月20日	10	100	13	
	山梨	石和 9月29日	10	0		9月20日は0/10(0%)
	富山	新湊 9月28日	20	5	0	9月21日は2/20(10%)2-ME100%
	神奈川	平塚 10月5日	20	0		9月21日は0/20(0%)
	東京	八王子 9月20日 ～22日	50	4	0	9月13日～16日は2/50(4%)2-ME100%
◎	千葉	旭 10月4日	20	60	100	9月27日は10/20(50%)2-ME38%
	群馬	玉村 9月24日	16	0		9月10日は0/16 (0%)
	宮城	仙南 9月6日	8	0		
		岩沼 9月27日	22	5	100	
		角田 9月27日	5	0		
◎	ブタの抗体保有率より日本脳炎ウイルス汚染が推定された地域					
☆	その他の情報より日本脳炎ウイルス汚染が推定された地域					
		今シーズンの調査で、ブタのHI抗体保有率が80%を越えた地域				
		今シーズンの調査で、ブタのHI抗体保有率が50%を越え、かつ2-ME感受性抗体が検出された地域				
		今シーズンの調査で、ブタの新鮮感染(2-ME感受性抗体)が検出された地域				